

屠蘇気分

正月気分がいつまでも続いていると「屠蘇気分が抜けないぞ・・・」などといいますが、屠蘇は、一年の健康を願って正月にのむ薬用の祝い酒です。

屠蘇の屠は前年までの災難や病氣と縁を切ること、蘇は新年を向かえ家族の幸せや健康をよみがえらせ今年も元気に過ごそうといことで、日本には 9 世紀ころ宮中に伝わり徐々に民間に広がったといわれています。

屠蘇酒は薬草と酒とミリンで年末に造り、三が日の朝にほんの一口づつ、年の若い順に飲みまわし皆の無病息災と長寿を祈るものです。この屠蘇に名を借りてお酒を飲みすぎいつまでも正月気分が抜けない人のことを「屠蘇気分が抜けないぞ・・・」というわけです。

薬草の配合はいろいろありますが、防風、桔梗、細辛、乾姜、桂皮などが代表的で香りと味を楽しむようにできています。

三が日も過ぎ、このお話少々時期を逸しましたが、皆さんはもう屠蘇気分は抜けましたか？